



〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL 0185-23-3241
FAX 0185-24-4947
校報通算 第218号

TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th

開かれた学校をめざしてコミュニティ・スクールの取組

校長 長谷川 朋欣

保護者や地域の方々とともに子供たちを育てていくコミュニティ・スクールの取組について、お知らせいたします。

【コミュニティ・スクールの意味・意義】

学校が、地域と無関係に存在することはありえません。コミュニティ・スクールは学校と地域や保護者の方々が力を合わせて学校の運営に取り組むことを可能にする仕組みです。

少子高齢化の時代にあつて、特に地方では学校に寄せられる期待には大きいものがあります。どんどん子どもの数が少なくなり、学校も小さくなる中で、将来の地域を担う人材を育てていかなければならないからです。

本校では4月27日に第1回学校運営協議会を開きました。これは地域の代表としてお願いした委員の方々に今年度の学校運営等についてお知らせし、ご意見をいただく会です。地域の実状を知る委員の方々には、これまで以上に地域と学校との橋渡し役をお願いしました。

【学校をもっと知っていただくために】

まずは、「今」の南中について、保護者の皆様はもちろん、地域の皆様にも広く知っていただきたいと考えています。そのためにPTA授業参観や運動会等、保護者の皆様にお越しいただく行事等に、地域の方にもご参加いただきたいと考えています。

生徒数500人を越える開校当時に比べると5分の1ほどの生徒数になってしまいましたが、「今」の南中生も澁刺と学校生活を送っています。そのような南中の今を見ていただきたいのです。



▲英語の授業風景です。ALT含め指導者が3人います。

地域の方々にもご参加いただきたい今後の今年度の主な行事と内容は次のとおりです。

- 6月2日(土) 9:00～
南中招待野球大会(南中野球場)
- 6月6日(水) 14:05～15:00
町の先生講話会 前校長、栗森貢教育長の講演会
引き続き中総体に向けた応援練習をします。
- 6月14日(木) 14:00～(南中体育館)
中総体激励会 南中選手団に熱い激励を!
- 6月16・17日 中総体 野球・ラグビー→市運動公園、
卓球→天王体育館、バレーボール→大潟村体育館

- 6月22日(金) 14:30～
花壇苗植え作業
- 6月28日(木) 13:30～15:45
インターナショナルデー 市内外のALT(英語指導の外国人助手)が集まり生徒と英語で活動します。
- 7月11日(水)
PTA参観日 親子講話会
- 9月2日(日)
南光祭 今年も輝く生徒の姿をご覧ください。
- 10月23日(火) 13:00～
男鹿地区少年弁論大会(南中体育館)
- 11月8日(木)
防災教室 地震体験、煙体験なども実施予定
- 1月16日(水)
全校書き初め会 生徒と一緒に書き初めを!
- 2月21日(木)
PTA参観日

この他、期日は未定ですが、給食試食会も検討中です。また、花壇の苗植えの後の除草作業のボランティアはいつでも大歓迎です。詳しい内容や参加ご希望については、教頭三浦まで(☎23-3241)ご連絡ください。

【将来の、地域の担い手になる種を蒔く】

地元に残りたいけれども働くところがないので地元を離れる若者の話をよく聞きます。企業誘致を待つばかりでは現実味がありません。今ある地元の職場の中で就活をすることは悪くはありませんし、それが現実なのかもしれません。しかし「ないならつくる」「今あるものを結びつけたり、組み合わせを変えたりして新しいものを生み出す」などの発想をする若者を育てることは、今の大人の役割ではないかと個人的には考えます。

男鹿市には、新しいイベントを定着させたり、話題のB級グルメを生み出したりと、これからの時代を生き抜くための実践例が抱負だと感じています。そうした風土や文化を育ててきた地域の方々とふれあうことは成長過程の中で最も多感な時期にある中学生にとっては意味のあることだと考えます。

地元のよさを知り、地元に一層の愛着を感じる。ネットワークを広げ、その中に活躍場所を見つける。そうした動きに結びつく種を蒔くことが大切ではないでしょうか。その意味でも学校の活動に、保護者の皆様も地域の方々もどうぞ、ご参加ください。

今月号から、生徒の手による校報「こだま」のタイトルを使っています。

今月号は澤木麻鈴さん(2年生)の作品です。

「こだま」から音などが響き合うことを連想した麻鈴さんは、水の響きを表現したいと思い水紋が中学生と思える女子に伝わる様子を描きました。